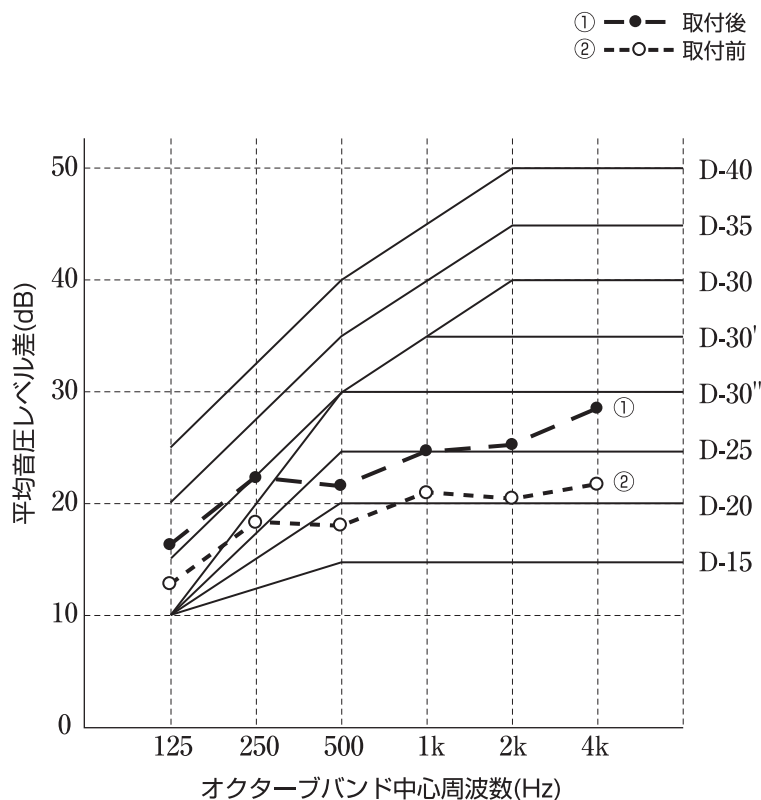
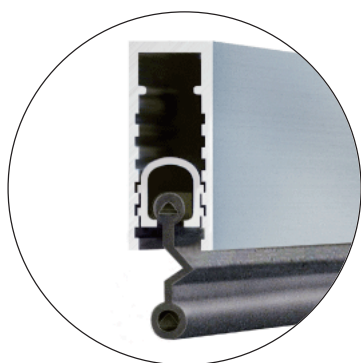


木製開き戸にフローリック〈FL-BQ〉を取付けた場合と、取付けない場合の比較

■フローリック〈FL-BQ〉



測定方法： 洋室10.9帖に音源をおき、音源室内5点の音圧レベルの平均値とドア前1mの音圧レベルの差をオクターブバンド毎に評価した。（開き戸と床面の隙間は約10mm）

①は開き戸の下框にフローリック〈FL-BQ〉を取り付けて、扉を閉めた場合の遮音性能測定値をグラフで示したものです。

②は開き戸の下框になにも取り付けないで、扉を閉めた場合の遮音性能測定値をグラフで示したものです。

測定場所：つくば市N邸（実家屋）

立会人：(社)日本騒音制御工学会設計技士 大島 敏氏